

図書室ホームページ作成ツールの変遷

村瀬 菜都子

ラクオリア創薬株式会社

1997年から作成した図書室イントラネットホームページはHTMLに始まり、2006年にはXoops、2008年からはSharePoint Servicesと、さまざまなツールで作成し、情報発信してきた。それぞれのツールの長所・短所を紹介し、管理者側およびユーザ側のコメントも合わせて報告する。

・1997年～

HTMLで作成。全社初のイントラネットホームページの作成。

【主な機能】Web経由での文献複写依頼の受付。

・2000年～

HTMLとJavaScriptを使用。

【主な機能】電子ジャーナルのリストの提供、マイクロフィルムの検索、文献受入時のアラート開始。

・2002年～

HTMLで作成。初期デザインはアウトソース。

【主な機能】Myインターネットジャーナル(Myページ)提供、雑誌受入時のアラート開始。

・2006年～

Xoopsで作成。

【主なポイント】サーバ管理・デザイン・コンテンツ維持等、すべて外注。他サイトの情報部門とのハーモナイズ。

・2008年～

Windows SharePoint Services(WSS)で構築。

【主なポイント】電子ジャーナルのリストの維持の外注。OPAC自作。

	HTML (インハウス)	HTML(初期デザイン アウトソース)	Xoops (アウトソース)	SharePoint Services (インハウス)
開発	自社	他社	他社	自社
サーバ	自社	自社	他社	自社
開発費用	低	高	中	低
カスタマイズのしやすさ	○	○	×	△
デザイン性	△	○	△	×
コンテンツ管理の作業量	大	大	小	小
システム管理の作業量	大	大	不要	中